

発行所  
天理教笠岡大教会

かさおか編集掛  
笠岡市用之江377  
郵便番号714-0066  
(0865)

電話 66-1311  
FAX 66-1314

# かさおか

文学公園へ続く道(尾道)



## おつとめ奉仕者の増員

- ・一人ひとりが日々に真実を尽す
- ・布教によるおつとめ奉仕者の増加
- ・後継者講習会への参加による奉仕者の増加

立教170年  
7月号

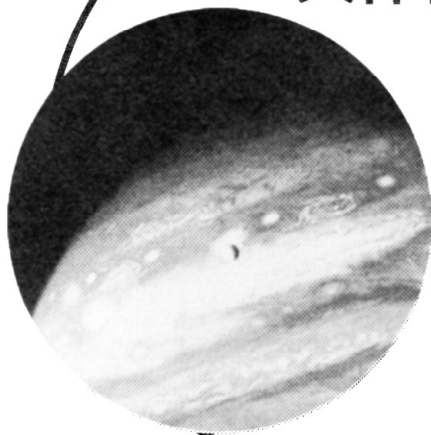


立教156年12月5日号

天理大学教授 上原 豊明

この「道と世界」欄にペンを執り始めて、やがて一年。いろいろなことが起こった一九九三年も、やがては歴史の中に畳み込まれ、過去のヴェール

最終回 木星異変と世界  
天体情報から何を  
くみ取るか



の中に消えていくのだろう。

確か六月、次のようなニュースが米国から届いた。太陽系最大の惑星、地球から見て太陽

の反対側に位置する二番目の星・木星

に、来年七月の最後の週に彗星(す

いせい)が衝突するとか。この情

報を確かめるように、十一月に

はニューヨークから同じニュー

スが流された。

このニュースは、米国アリゾナ

州ツーサン市にあるプラネタリー・

サイエンス研究所の発表。木星への彗星

衝突は、TNT火薬に換算して何十億メガ

トンという膨大なエネルギーを発すると推

測されている。

六千五百万年前、地球上の恐竜が絶滅したとい

われる彗星の地球衝突時をもはるかに上回るエネ

ルギー。人類が、このような宇宙空間での衝突を

目にするのは、恐らく初めてのことだろうという。

この彗星はカリフォルニア州のパロマ天文台で

三月二十四日に発見された。一つの星というより、

二十一個ほどの岩塊が列車のように並んだ一連の

もの。天文学者は、一つ一つの大きさは三分の二

キロメートルから五キロメートルほどと推定して

いる。

これらはかつて一個の彗星であったが、木星に

近付き過ぎたため、木星の強い引力で砕かれたの

ではないか、とのこと。事実、この奇妙な「真珠

のつながり」は、木星の周りで不正確な軌道を

描いている。

ところで、地球の直径一万二千七百

五十六キロに比べ、木星は十

四万二千七百九十六キロとい

う大きさ。かの一連の彗

星は、昨年七月九日に、

木星表面から十萬キロと

いう近距離を通過しており、

来年七月には木星にぶつかるほど

接近し、それぞれが衝突するもの

と推測されている。

その衝突時の速度は秒速六十キロ

(時速二十一萬六千キロ)で、巨大な

爆発を引き起こすものと推測されている。爆発に

よって木星表面に発生する火災は、その濃厚な大

気を破り、残砕を空間に放出する。

さらに、木星に衝突しなかった岩塊は、木星の

四つの月や木星を回る数多くの小衛星に加わり、

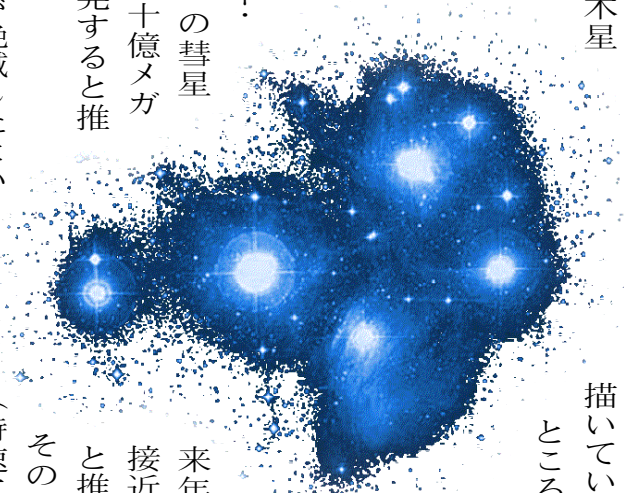
新しい木星の月となるのか。あるいは、さらに小

さな破片に砕け、木星から放出される残砕とも

に、新しい輪を形成するのではないかと見られて

いる。つまり、木星の周囲に土星のようなリンク

が出来るといふのだ。



地球からは間に火星をはさんで六億二千八百万キロも離れているが、この衝突による爆発は、昼間でも地球から肉眼で見えるはずだとのこと。もし計算通りに来年七月にそうなると、人類始まって以来の天体異変となる。

しかも、他の惑星での大爆発が地球にどんな影響を及ぼすかについては、まだわかってない。今後の問題として、天文学者たちの間では重要な

テーマだ。

さて、以上のことが果たして起こるのか、起こらないのかは親神様の思召(おぼしめし)にお任せするとして、私たち道の間人として、天体情報から何をくみ取るのだろうか。

地上では、十八世紀後半から十九世紀初頭にかけて始まった産業革命と近代資本主義の利潤追求による国家強大化が二回の世界大戦を引き起こし

# こころの詩

▼養徳社発行『陽気』誌七月号、「道柳」より  
転載

▼今回の課題は「三」、選五十句中、笠岡に繋がる教友の方一名、一句が見事選ばれ掲載されましたので転載させていただきます。おめでとうございます。

准秀詠 東悠分教会前会長夫人

田林 美智子

## お三味線

### 系新しくつとめ待つ

## ▼表紙の切り絵

芦品分教会 佐々木ふさ子さん

(よふぼく)

## ▼瀬戸内港町

作詞 寺下宏一

一、さびしさのつる

涙で眺める

夕べあんなに

別れて行った

潮が泣いている

夕日が落ちて

二、朝引く潮も

次いつ会える

思いのたけは

連絡船も

荒れくる浪も

あの人乗せた

三、潮の早さに

流れにまかす

島から島へ

瀬戸の花嫁

幸わせのせて

引き潮を

防波堤

満ちながら

君恋し

瀬戸内に

港町

昼満ちて

夢を見る

ますばかり

葉のように

又うれし

港町

とまどいて

我が思い

通う舟

嫁ぎゆく

港町

た。その後の冷戦構造下では、核軍備の拡張と、限らない物質的幸福を求めた産業構造とが憂うべき環境問題をも引き起こしてきた。そこに、個人の自由と権利の美名に隠れての性の解放は、一方でエイズ(後天性免疫不全症候群)のまん延をもたらし、麻薬の乱用が若い世代の心身を蝕(むしば)んでいる。

そしていま、冷戦構造がなくなったとはいえ、民族・宗教・イデオロギー・政治・経済などの問題をめぐって局地戦争が頻発。戦火で荒廃した土地では、食糧難で飢えに瀕(ひん)する人々が何十、何百万人を数える。さらに、洪水、山火事、地震、台風、ハリケーン、殺人や強盗などの犯罪などなど、羅列するだけでも枚挙にいとまのない天災、人災の連続。まさに世紀末を迎えての天変地異を通して、新しい世紀への転換が象徴されているのだろうか。

ともあれ、このような現実が地球規模だけでなく、天体をも入れて目前にあることは、「陽気ぐらし」を目的としてこの世界を創(つく)られた親神様の、人間に対する「警告」として悟るべきではないだろうか。それだけに、全数のへようぼくは「一手一つ」の理念を体し、「そばがいさめば神もいさむる」のお歌を目標に、教祖(おやさま)百十年祭に向かって、心から勇んで世界たすけへの道を邁進(まいしん)すべきだと考えている。

## 4年ぶりの全教野球大会出場

教会本部布教部文化体育課の行事に野球大会がある。全国から選りすぐりのチームが各県で予選を勝ち抜きおぢばで熱戦を繰り広げる。今年で第35回を迎える。笠岡もチームを再結成して10数年になるが、いつも岡山大会決勝で岡山大教会に敗れおぢばで戦った記憶は数少ない。今回は4年前に試合が雨天で流れ、違う日に予定がつかず、クジで勝った事が一番新しい記憶である。長年老年化していくチームを何とかしようと笠岡に繋がる野球好きの若者達に声を掛けてきた結果、昨年位から少しずつ平均年齢が下がってきた。昨年負けた悔しさをバネに試合条件を整えて6月3日に美星町の野球場で岡山大教会のチームと交戦した。

結果、若い用木バッテリーで望んだ試合で苦戦しながらも優勢に試合を進め、みごと全国大会に出場する権利を獲得した。10月28

, 29, 30日に開催されるおぢばでの大会にチーム全員胸を躍らせている。尚、野球好き若い用木がおられ

ましたら、是非私に一方下さい。野球を通して、用木の絆を深め教会、おぢばに繋がって行けたらと思います。

(大教会 上原志郎)

	1	2	3	4	5	計
笠岡	1	1	0	1	1	5
岡山	2	0	0	0	0	2

### 第797期修養科募集要項

**\*修養科期間**

立教170年9月1日～11月27日

**\*教養掛**

- 3ヶ月間 岡崎和夫 (大教会役員・弥高山分教会長)
- 1ヶ月目 高島定彦 (出雲分教会長)
- 2ヶ月目 上原志郎 (大教会役員)
- 3ヶ月目 瀬良善彦 (高見島分教会長)

**\*募集要項**

- ・志願者は、9月末日現在で満17歳以上で、下表の必要書類を携え、上級教会を經由して大教会に順序参拝すること。
- ・8月25日までに笠岡詰所に入所し、教養掛の面接を受けること。
- ・3ヶ月の修養期間を修了後は、大教会での修養科修了講習会を受講し、11月29日の昼食後に解散。

立教170年

こどもおぢばがえり

## 詰 所 行 事

### 1. 模 擬 店

- ・日 程：7月28日、7月31日、8月2日（雨天の場合は一階廊下）
- ・場 所：食堂南側の中庭において6：00より7：00まで。いずれもチケット一枚50円、4枚綴り200円。チケットは5：30より1階廊下で販売します（尚模擬店スタッフは5：00集合）



- ・売券の払い戻しがある場合、各教会代表者がまとめて模擬店事務所（一階南棟107）まで持参下さい。

### 2. パターゴルフ（無料）

\* 模擬店のある日の6：00～7：00まで

- ・場 所：二階廊下
- ・ル ー ル：6コースの中から3コースを選び、線から出たらその場所から続ける。穴に入るまでの打った数とその合計を紙に記入する。
- ・次の日の朝、上位5名を放送の上、景品を渡す

### 3. 詰所内クイズ（期間中を通して毎日）

- ・クイズ解答用紙は帰参挨拶の時、記念品と共に子供の人数分責任者に手渡す
- ・解答用紙投函場所は玄関入り口看板前に入れて下さい
- ・おぢば帰り終了後、教会誌「かさおか」に名前を掲載し、各クラス5人に景品を送る

### 4. 映画上映

\* 7月27日～8月2日まで毎晩アニメ、又は子供映画を上映

（3日、4日は希望により上映）

- ・上映部屋：修練室（北棟2階西広間）
- ・上映時間：7：30～9：00
- ・上映内容：毎朝その日の映画題名を玄関に掲示

## 六月月次祭祭文

これの笠岡大教会の神床にお鎮まり下さいます親神天理王命の御前に会長上原理一慎んで申し上げます 親神様には「にんけんハみなく神のかしものやなんとをもうてつこているやら」と子供かわいい一条の親心から旬に応じて自然災害や身上事情等を通して陽気ぐらし実現に向けての心の成人をお促し下さっております事は誠に有難く勿体ない極みでございます 道にお引き寄せ頂いた私共は人が人として生きるに当たり心の基礎となる喜びの門目すなわち「かしものかりもの」に込められた親心を我欲にとらわれ真の喜びを失いつつある人々に少しでも伝えたいものと朝夕に御礼申し上げると共につとめと布教でたすけ一条の御用の上に勤め励ませて頂いております

その中にも今日の吉日はこれの笠岡のお許し下さいました御祭日でございますのでおつとめ奉仕者一同喜び心をついに睦び合って明るく陽気に勇んで坐りづとめてをどりをつとめて六月の月次祭を執り行わせて頂きます 御前には梅雨空をもものともせず今日の日を楽しみに寄り集いました道の子供達が相共にお歌を唱和し変わらぬ御守護にお縋りする状を御覧下さいまして親神様にもお勇み下さいますようお願い申し上げます

さて核家族が進み近所づきあいは元より親子の関係さえも希薄になって信じれるものはお金だけ大切なのは自分だけという現代布教の難しさを痛感しておりますが官憲圧迫や秘密訓令の時代の事を思えば心に勇気が湧いてきます 一人一人が用木との自覚を高めより勇んでたすけ一条の上に邁進して行く覚悟でございます

又道の後継者育成の始めの一步であります子供おちば帰りを来月に控え本日は縦の伝道講習会を開催させて頂きます お聞かせ頂く一つ一つをしっかりと心に治め道を伝えて行く事の大切さを更に心に刻み募集の上により一層力を注いで行く事はもちろん若い世代には学生生徒修養会や後継者講習会等各会行事にも積極的に参加を促して行く所存でございます

何卒親神様には十年後を目指し道の後継者育成に心を一つに揃え邁進する皆の真実誠の心をお受け取り下さいまして真実の心が一人またひとりへと映りそれぞれの教会でのおつとめ奉仕者増員に繋がりますよう御守護お導きの程を一同と共に慎んでお願い申し上げます



先日、息子のいじめ

に悩んでいる主婦の問題解決に、こんな解決方法を与えてくれるコンサルタントの話を読んで読みました。それには「あなたの大事な息子が人から責められて悩んでいるということとは、あなたも、誰か感謝すべき人に感謝せずに、その人を責めて生きているからなんです。あなたが心から反省し、自分の責めている人に感謝出来れば息子さんの「いじめ」の悩みも解決出来るのです。」…まさに、「お道の」さとし」を聞いている様です。

この解決方法は心理学で昔発見された法則なのです。「現実には起きる出来事はひとつの結果で、結果には必ず原因があり、その原因は、自分の心の中にあるのであって、自分の人生の現実には自分の心を映し出した鏡だということですから…これが心理学でい

う「鏡の法則」だそうです。「心の中で不満ばかり抱いていると、その心を映し出すように、ますます不満を言いたくなるような出来事が現実になってきます。逆に、心の中でいつも感謝していると、さらに感謝したくなるような出来事が起きてくるのです。」

「自分の心を変えることで人生はいくらでも変えられる。」…ということですが。

この主婦は、本来自分の一番感謝すべき父や夫に、教養や知識が少し不足気味で思慮にかけるところが見受けられ、「許せない」気持ちを抱いていて、相談事もせず過ごしていたようで、これを反省し、感謝の念を伝えるよう心掛けて過ごしていると、息子のいじめの問題も解決できたようです。

まさに次のおさしづが、重みを持って聞けます。「人間というものは、身はかりもの、心一つが我がのもの。たった一つの心より、どんな理も日々出る。どんな理も受け取る中に、自由自在という理を聞き分け。」

(さ)